

# 上小だより



大和市長  
上和田小学校  
KAMIWADA ELEMENTARY SCHOOL  
〒242-0014 大和市長上和田2695番地  
TEL 046-267-3352

令和4(2022)年9月30日 一十月号一

## 自己肯定感の向上

校長

すこし、堅苦しい話をします。いきなりですが、教育の目的とは何でしょうか。教育基本法第1条には教育の目的とは、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。」と書いてあります。

難しいことが書かれていますが、私は、教育の目的の達成に大切なことに自己肯定感を挙げます。自己肯定感とは、「自分には価値があるんだ」「自分は愛されているんだ」といったように自分の価値や存在意義を前向きに受け止める感情や感覚のこと。自分のことが好きで、今の自分に満足している子どもの心や行動のあり方を言います。

自己肯定感が高い子どもは、自分のことを大切に思い、周囲からも大事にされていると感じているため、失敗よりも成功を強く意識して前向きにチャレンジしたり、壁にぶつかっても立ち向かっていったりすることが出来ます。

一方、自己肯定感の低い子どもは、成功よりも失敗を強く意識し、自分を否定的に捉える傾向にあると言われています。自らの感情がコントロールできず情緒不安定で、自分や他人を信頼することができないため、協調性がなく、あきらめやすいことが特徴として挙げられます。

では、子どもの自己肯定感を高めるには、その重要な鍵となるのは「ほめる」ことだと思います。ほめられることで子どもの心は素直になります。そして、認めてくれた相手に対する信頼が高まり、他人に対しても優しくなれます。そして、前向きに自分の力を出して、誰かの役に立ちたい、もっと頑張りたい、と思うようになります。

また、「ほめる」には、「条件ほめ」と「無条件ほめ」の2種類があります。「条件ほめ」は、子どもが頑張った時や何かができるようになった時、良い結果を出した時に、一緒に喜んだりするなどの努力や達成についてほめることです。とても大切なことですが、条件付きのほめだけでは、自己肯定感はいま育まれません。

そこで大切なのが、もう一つのほめかたである「無条件ほめ」ということになります。「無条件ほめ」とは、何か特別なことがなくても、子どもの存在自体をほめてあげること。「あなたのことが大好きだよ」「生まれてきてくれてありがとう」といったような、親の無条件の愛情、無条件なほめ言葉が、子どもの自己肯定感を育むと考えます。

自己肯定感とは、子どもが成長していくうえでとても大切な感情です。学校では、「ほめる」ということに心を留め、その子その子に寄り添った指導をして参ります。ご家庭でも「ほめる」ということに少し意識をおいて子どもと接して頂けたらと思います。

## 運動会について

10月15日(土)午前中のみで運動会を開催いたします。当日は登校班での通常登校になります。児童は、体操着を着て登校してください。保護者の受付開始時刻は、8:30からです。また、参観は各家庭2名までです。詳細は「第51回運動会のお知らせ」をご覧ください。

※感染状況を踏まえ、運動会の参観は保護者、学校評議員のみに限らせていただきます。

## 50周年記念式典について

11月12日（土）に創立50周年記念式典と祝賀会を行います。児童は通常通り登校後、1、2校時は授業を行い、3校時の記念式典に参加。式典では、上和田小の歴史や児童のメッセージのスライドショー披露や児童による感謝の発表があります。尚、11月14日（月）は振替休業となります。

## 個別面談について

保護者のみなさまとお話する機会として、11月、12月に個別面談を予定しています。なお、心配なことやご相談等ありましたら、遠慮なくいつでもご連絡ください。予定日は11月30日（水）、12月1日（水）、2日（金）、5日（月）です。

## 社会見学のおしらせ

1年生から4年生は、11月に社会見学を予定しております。（5年生は、愛川ふれあいの村に宿泊野外活動があります。）詳しくは、11月の各学年の学年だよりをご覧ください。



※10月11月の行事は状況により延期、中止の可能性があるので、予めご了承下さい。